



機能の概要

Contract Workspace Modification API の機能を強化 (SC-11408)

一般提供予定: 2023 年 8 月

Contract Workspace Modification API の機能を強化

説明

- **Contract Workspace Modification API** では、ワークスペースがドラフトの場合に限り、ワークスペースの 1 つの契約ワークスペースメタデータ (ヘッダーフィールド) の詳細を更新することができます。
- 今回の変更により、以下の処理を行えるようになります。
 - SAP Ariba で公開済み契約ワークスペースの改訂を作成し、SAP Ariba Procurement ソリューションで対応するコンプライアンス契約申請を作成します。
 - 改訂処理の後、お客様は、前の手順の改訂種別に対応するフィールド値を更新できます。

メリット

- API により、Ariba UI 以外の方法で契約ワークスペースと関連オブジェクトの改訂をトリガするための標準的なインターフェイスが提供されます。
- API を使用することにより、SAP ソリューション以外のフロントエンドおよび実行アプリケーションを使用している場合に、これらのアプリケーションから公開済み契約ワークスペースと、コンプライアンス契約などの関連オブジェクトを簡単に更新できるようになります。
- エンドユーザーにとって容易なプロセスのモデルを作成できます。

ユーザー

- バイヤー

イネーブルメントモデル

- 自動的に有効

対象ソリューション:

- SAP Ariba Contracts
- SAP Ariba Strategic Sourcing Suite
- SAP Ariba APIs
- SAP Ariba Developer Portal

前提条件、制限事項、注意事項

前提条件

- この機能に関連する SAP Ariba APIs を使用するためにアプリケーションを作成してアクセス権を依頼するには、SAP Ariba Developer Portal にアクセスできる必要があります。詳細については、[SAP Ariba Developer Portal のヘルプ](#)で「[SAP Ariba APIs の使用を開始する手順](#)」を参照してください。
- この API に対して行われたすべてのクエリは、OAuth 認証によって認証される必要があります。詳細については、[SAP Ariba Developer Portal のヘルプ](#)で「[SAP Ariba Developer Portal 認証](#)」を参照してください。
- 契約ワークスペース情報を管理するユーザーには、[契約管理者] グループのメンバシップが必要です。

制限事項

- 改訂種別が **Administrative** または **PriceUpdate** の場合にのみ、状況を [改訂の完了] に変更できます。**Amendment**、**Renewal**、**Termination** などの改訂の種別では、手動で変更を公開する必要があります。
- /contractWorkspaces/{contractId}/state エンドポイントの action および amendmentAttributes パラメータは、サイトの地域情報に関係なく、英語で入力する必要があります。
- /contractWorkspaces エンドポイントの POST および PATCH メソッドの accessControl パラメータについては、サイトの地域情報に関係なく、英語で値を入力する必要があります。

注意事項

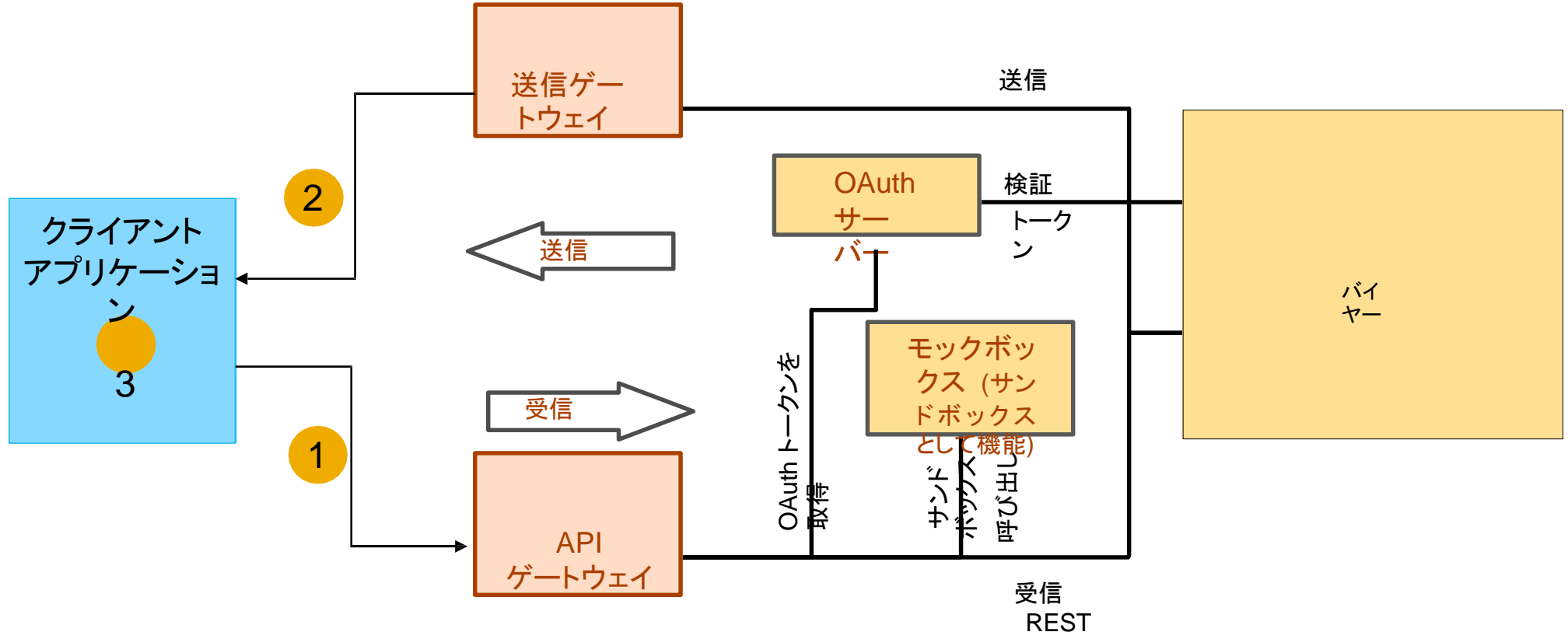
- なし

機能の詳細

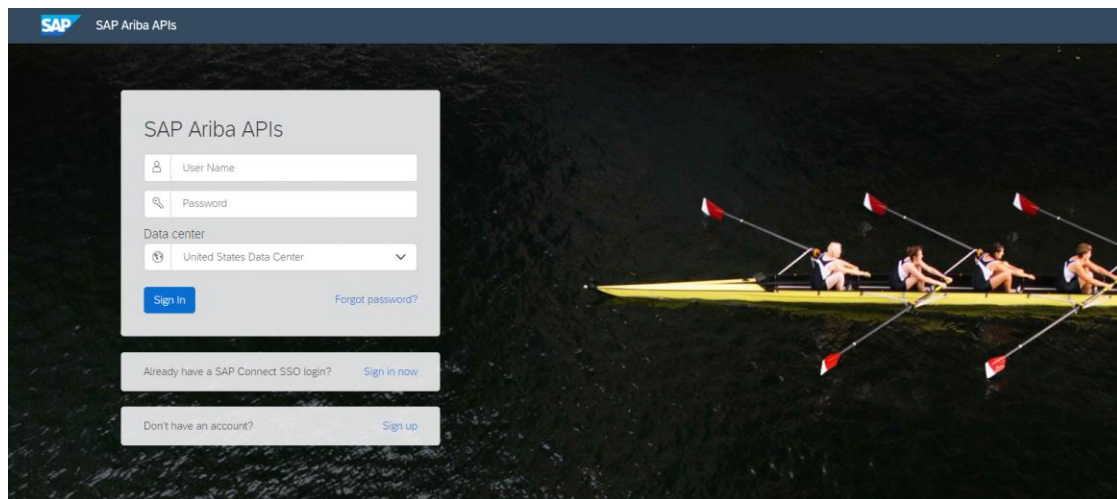
- **Contract Workspace Modification API** を使用して公開済みの契約を改訂することができます。改訂処理によって、契約ワークスペースと、契約条件などの関連オブジェクトを、指定した改訂種別に従って更新できるようになります。たとえば、改訂処理の後に、**Contract Compliance API** を使用して契約条件の詳細を更新することができます。
- **Contract Workspace Modification API** を **Contract Compliance API** とともに使用すると、SAP Ariba Procurement ソリューションと SAP Ariba Contracts の両方で契約を作成および管理するソリューションを開発できます。

Contract Workspace Modification API のワークフロー

1. クライアントアプリケーションで、定義済みのパラメータセットを使用して Ariba Contracts または Sourcing に対するクエリが実行されます。
2. API がクエリに応答し、一致するレコードを含む JSON データセットを返します。
3. データを受け取ったアプリケーションで、そのデータが処理されます。



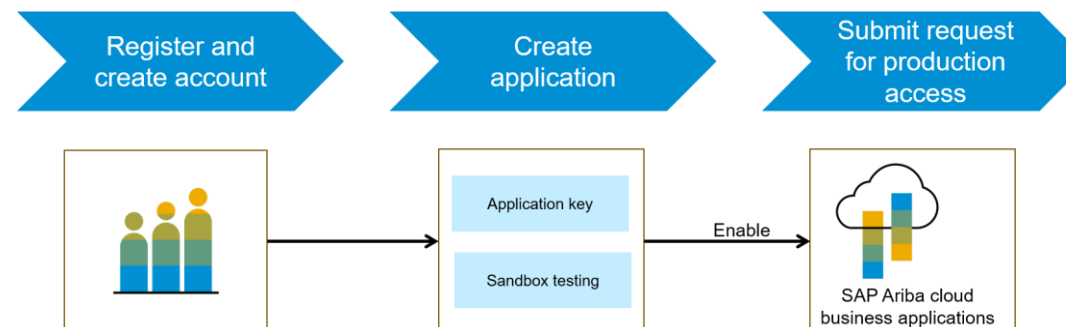
API を使用するアプリケーションの開発方法



Build powerful domain specific applications to address your customer needs using a rich environment and user friendly tools offered by SAP Ariba.

<https://developer.ariba.com/api/> に移動します。

[Learn (詳細)] セクションを確認し、アプリケーションの開発方法に関する詳細を理解します。一般的に、アプリケーションを開発するプロセスには以下のステップが含まれます。



1. Developer ポータルでの登録後に、SAP Ariba Contracts で使用可能な API をチェックし、各 API の詳細を確認します。
2. 新しいアプリケーションを作成し、アプリケーションを有効化してアプリケーションキーを取得します。
3. <http://connect.ariba.com> でサービスリクエストを提出して、作成したアプリケーションの「本稼動アクセス」を申請する必要があります。申請が承認されると、アプリケーションの OAuth クライアント ID が生成されます。
4. バイヤー管理者として、自分のプロフィールに OAuth クライアント ID を追加します。

サンプルコード

以下のサンプルコードでは、`{{runtime_url}}` を、SAP Ariba Developer Portal のこの API の Discovery ページにある [Environment Details (環境詳細)] テーブルに記載されている、目的の実行時 URL に置き換えてください。

- 以下は、指定した契約ワークスペース ID を改訂、またはその改訂を完了する例です。

```
POST {{runtime_url}}/contractWorkspaces/{contractId}/state? user=user1&passwordAdapter=pwd1&realm=realm1
```

– 例:

```
POST {{runtime_url}}/contractWorkspaces/CW1234/state?user=customersupportadmin&passwordAdapter>PasswordAdapter1&realm=s4All-8
```

- リンク: [申請ファイルを確認する場合はこちら](#)、[応答ファイルを確認する場合はこちらをクリックしてください](#)。
- このほかの Swagger の例については、<https://developer.ariba.com/api/> で [Discover (探索)] セクションを参照してください。

ユーザーの事例

- ユーザーは、契約ワークスペースと、契約ワークスペースにある関連オブジェクトの改訂を作成できます。
- お客様は、公開済み契約の値を更新する前に、契約ワークスペースの改訂を作成する必要があります。Contract Workspace Modification API 呼び出しで、サポートされている任意の改訂種別、改訂理由を渡すことができます。
- Contract Workspace Modification API を使用して、改訂種別に従って、許可されているフィールドの値を更新するか、SAP Ariba Procurement ソリューションの Contract Compliance API を使用して契約条件を更新することができます。

ありがとうございました。

フォローをお願いします。



www.sap.com/contactsap

© 2023 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、若しくは関連の提示物、及び SAP SE 若しくはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、及び/又はプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE 若しくはその関連会社により随時、予告なしで変更される場合があります。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する情報および表示の詳細については、www.sap.com/trademark をご覧ください。